

つくば市議会提言書

令和7年9月30日 予算決算委員会

事業名	アフタースクールモデル事業
事業概要	小学校の放課後において、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動の機会」を提供するため、モデル学区を設定し、令和6年度開設準備、令和7年度運営を業務委託する。
提言内容	
1 地域における世代間交流の促進について 本事業において、地域人材による体験プログラムなどを通じて、当該地域で多世代の交流が促進されることは有意義であると考えます。地域の住民に協力してもらいやすくするため、さらなる周知に努めていただきたい。 2 環境整備について 本事業において、体育館を活用してスポーツ等の活動を行うニーズが高い。近年の夏の暑さを鑑みると、児童の安全を確保するため、体育館へのエアコンの早期設置が課題である。現在アフタースクールモデル事業を実施している沼崎小学校のほか、今後アフタースクールが導入される学校についても、関係部署と連携を図り、環境整備に努めていただきたい。 3 占有教室の確保について 本事業において、児童がより過ごしやすい環境を整備するため、占有できる教室の確保が重要である。必要に応じて占有できる教室を十分に確保できるよう、関係部署と連携していただきたい。	

予算決算委員会福祉保健分科会